

土と水と緑の学校



日頃、自然を体験する機会の少ない子どもたち。大自然の中で生活することにより、わたしたちの住んでいる地球の基本である土・水・緑について学び、その役割、大切さに気付いてもらうことが目的です。このような自然体験によって成長期における精神のバランスを保ち豊かな創造力が育てられることを期待します。

土の日



テントで宿泊。自炊やドラム缶風呂を体験します。土にはどんな生きものがあるかな？土に住む虫を見つけてみよう！

水の日



川でカヌー体験。しかけを作って魚をつかまえてみよう！高田の川はなぜきれい？水の大切さも学びます。

緑の日



森の中をハイキング。緑の働きや人々との関わりを、森林(世界遺産の熊野古道)の中で学びます。

海の日



ホエールウォッチングでくじらを見つけよう！磯観察では、エビや貝などの生態について学びます。

心の日



世界の子どもたちはどんな暮らしをしているの？世界の自然や生活、私達の生活との関わりを学び、グローバルな感覚を育てます。

● 地元の先生方がバックアップ ●

「土と水と緑の学校は熊野の自然が先生です。豊かな自然の中で楽しく遊び、学んで下さい。海・山・川のほんまものの先生たちが皆さんを待っています。」

近畿大学付属新宮高等学校教諭
熊野自然保護連絡協議会副会長
土と水と緑の学校講師 瀧野秀二

● 一週間のプログラム ●

1日目 開校式	2日目 土の日	3日目 水の日	4日目 緑・心の日	5日目 海の日	6日目 閉校式
さあ、土水がはじまります！	土に住む生物を見つけよう！	どきどき カヌー体験！	大自然の中をハイキング。	くじらウォッチングへ！	友だちたくさんできたよ！

- ・子ども約20人・リーダー5名程度でひとつのグループを作り、約1週間の共同生活をします。
- ・毎日違う寺子屋(民家・公民館など)をめぐり、各プログラムを進めます。
- ・安全や教育について研修を受けたボランティア約30名が、子どもたちの生活をサポートします。
- ・プログラムは、現役の学校教師や専門家が指導します。

● 広報新宮 (2013年9月号) に掲載されました ●

『自然から学ぶ』

8月8日、第30回「土と水と緑の学校」が開校しました。市内や大阪方面、名取市の子ども達約80人が参加し、13日までの6日間市内高田を拠点に共同生活を送りながら自然について学びました。2日目に夕飯を自炊した班では、子ども達がかまどでカレーライスを作りました。初めて参加した小学5年生の児童は、「火を起こすのは難しかったけどおもしろかった。3回目でやっと火がついた」と満足そうに話していました。

土の日はテントに泊まって自炊もするよ！



ドラム缶風呂も体験！



● 参加者の感想 ●



ぼくは、土水にいったよかったです。その理由は4つあります。一つ目はみんなとなかよくなったこと。二つ目は新宮にすんでいる子とまたあったりするから、はなしやすいからいいと思いました。三つ目は相手のきもちは分からないけどぼくにとっての親友ができたことです。四つ目は、ジュニアリーダーやリーダーとけっこう仲よくなったと思います。 カツ [ニックネーム]

こんな生きもの見つけたよ！



● 保護者説明会(オリエンテーション) ●

< 大阪 >
日時： 7月13日(日) 13:00~14:30
場所： 肥後橋官報ビル4階 (大阪市西区江戸堀1-2-14) (アジア協会アジア友の会のあるビルです) 地下鉄四ツ橋線「肥後橋」駅 ①-B出口すぐ 地下鉄御堂筋線「淀屋橋」駅 ④出口徒歩5分 TEL: 06-6444-0587

< 新宮 >
日時： 7月21日(月・祝) 13:00~14:30
場所： 新宮市人権教育センター(春日隣保館) 1階 集会室(新宮市春日6-5) JR「新宮」駅より徒歩3分 TEL: 0735-22-6880(当日のみ連絡先)

* 主催者あいさつ、指導方針、プログラム、携帯品の説明等、大切な会ですので保護者同伴でご出席下さい。